現地ルポ

その後の園児たち

再起した肢体不自由児を訪ねて★★

今年も〃手足の不自由な子供を育てる運動〃が展開される。小児マヒ、骨関節結核等による肢体不自由児は全国に約40万人、熊本県では約8,000人もいるといわれる。

このような不幸な児等のための施設として本県では松橋療護園が昭和30年に設置されたが、この療護園で療養を終り、家庭に帰つたその後の不自由児を訪ね、再起の喜びをいろいろきいて見ることにした。

こゝに紹介するのは阿蘇郡阿蘇町内牧の松野勉君と森協子さんの場合である。…（写真は松野君（中央）

松野君の場合

赤、白、ピンクのコスモスが一面に咲き乱れる校庭の芝生で、はち切れそうな明るい顔の松野君にあつた。クラスの友達と野球の話に興じ合つているところだつた。松野君は内牧中学校の二年生。彼の友達はみんな元気のいゝ野球ファンばかり。友達もまじえて車座になり話合つたら、彼は時折、整形手術の跡も痛々しい右手をかくすようにした。しかしそれは、無意識の動作で、本当は、もう一寸も気にしてなんかいないとニコニコしながら弁解していた。そして、そういゝながら両手を握り合わしたり、いろ〳〵な細い手くびの動作をして見せて、我々をはらはらさせた。

思いがけない勝利

松野君は二つの時にふとした過ちから右手を大ヤケドして全く自由が利かなくなつてしまつた。応急的に、地元の病院に入つて治療を続けたが、結果は少しも良くはならなかつた。両親の悲しみはひとしおであつた。途方に暮れながらも何とかしてなおしてやらねばと各方面に奔走しているうちに、幸い松橋療護園に入園することができた。一年半の療護園生活は、堅く曲つていた彼の右手を見違えるほど自由に動かせるようにした。それは、彼の両親にとつては、全く思いもよらぬほどの素晴らしい近代医学の勝利であつた。

もうどんなスポーツも平気

彼はスポーツが好きで、特に卓球が上手いということ。それに走るのが速いらしい。友達は口を揃えて彼にはかなわないという。担当の木庭先生は、松野君の性格の明るいことには感心して居られた。午後の校庭は秋陽に映えて、風が吹くたびに、コスモスの花の群が炎のようになびいた。鉄棒にさがらうやと松野君達は砂場で機械体操をして見せてくれた。両手で金棒にさがり、クルリと逆廻転して金棒の上にあがる松野君。左手と同じよう右手もガッシリと全身の重みを支えていた。彼の顔は笑つていたがその中に自信に満ちた真剣な表情が伺えた。

協子きんの場合

協子さんは四つの時、夜便所に立とうとしてそのまゝ全身マヒにかゝつた。少してそれが集中的に足にきて歩けなくなつてしまつた。その日から両親の苦労が始つた。特にお母さんは暗胆たる気持につき落され乍らも不自由な協子ちやんの看病に懸命につくされた。寒さのきびしい冬はキリキリ痛んで協子さんを苦しめた。入学を一年遅らせて、協子さんは行き帰りお母さんにおんぶされて小学校へ通つた。中学校に上る頃になつて自転車を買つて貰い、どうにか稽古して乗れるようになつた。学校ではいつも朗らかで友達がおんぶしてくれたりいろいろと協力してくれた。

思いやりと決意と

お父さんは阿蘇町役場に勤めている。協子さんが学校でみなによく面倒を見て貰うことについて、子供が依頼心が強くなりわしないかと心配され、可愛想だと思つたが、何でもやらせたとその当時の気持をのべておられる。

発病当時は終戦直後であつたゝめ、これといつた薬もなく、別府の温泉研究所で治療を施して貰つたが、これは少しの効果もなかつたようである。丁度その頃保健所から再三診察をすゝめられた。初めは、もう諦めて乗気ではなかつたが、保健所の熱意ある説得で一応松橋療護園で診て貰うことになつた。変形した足をなおす大手術――両親の気持としては相当な決意が必要だつた。しかし子供の幸福を思えば、親の本能的ないたわりの気持は小さいものかも知れないと決断をして、協子さんは松橋療護園へ入園することになつた。一年半の療護園生活が終つて、協子さんは見違えるほど立派に再起できた。

親として啓蒙したいこと

「実をいえば、協子の足の変形が驚くほどよくなつた事を、この上なく喜び合つた。それは、只変形がなおつたという単純なものではなく協子の精神的な不具もなおして貰つたということが一番大切なことだつた。自分が一番不幸だと思つていた協子のいじけた気持が療護園に入つてすつかりなくなつたし、今では、もう本当に明朗な子になつた。こゝで一言、肢体不自由児をお持ちの親達へ申したいことは、子供の入園について、親元から手離したらさぞ子供が不自由だろうという懸念が邪魔していると思うが、子供の幸福を真剣に考えた場合、こういつた古い親の考えは改めなくてはならないということ……」以上のように森さんは同じ場にある親達の自覚を切実に願つておられる。そして協子さんの再起の感激と喜びが、抑え切れず、「もし私がゆとりのある身なら、私と同じ不幸な子を持つ親達の啓蒙に専念したいほどです」と真剣なまなざしで森さんは語られる。

不安から希望と意欲へ

「協子さんは、生れつき手先が器用で友達も舌をまく位である。洋裁や編物が得意で手内職も充分できる。ミシンを踏む足の力も、少くも無理をしなくていゝようになつた。この十月協子さんは県の身体障害者職業指導所へ入所できるようになつた。協子さんは今年十六才。指導所で本格的な技術を修得して、将来は立派な洋裁師になるのだと希望に胸をふくらましている。協子さんの町にいつの日かこじんまりした洋裁店が見られる日も遠くはないことだろう。

（広報課）
（公衆衛生課）

映画〃花咲く丘〃でも紹介された肢体不自由児のための施設、松橋療護園は宇土郡松橋町に昭和三十年に設立された。現在まで二五〇名もの不自由児が再起して巣立つている。この療護園では、近代医科学にふさわしい医療施設は勿論、園内に小、中学校が併設されて、園児の教育も充実している。現在、七〇名の子供たちが、明るい環境の中で楽しい日を送つている。肢体不自由児のことについての御相談があれば、最寄の保健所又は、県衛生部公衆衛生課へ御問合わせ下さい。

十一月の上映映画選定

熊本県青少年映画等専門委員会

青少年向推薦映画

色彩
朝なな夕なに　一時間四五分
ある男子高校に赴任してきた若い女教師が、身辺に起る様々の事件に処して良識と愛情をもつて生徒の青春生活を導いていく姿を、清潔なタッチで描いた作品。
青少年向の娯楽作品として推薦

平和の谷　一時間三五分
第二次大戦の戦禍に荒れた、ドイツ占領下のユーゴスラビアを舞台に平和境を求めてさまよう幼い二人の孤児と、敵地に潜入した黒人のアメリカ兵をめぐる愛情の物語を描き、戦争の悲しさと、人種の別を越えた愛の美しさに深い感銘を与える作品として青少年に推薦

鍵　二時間一〇分
戦争という異常な局面で結ばれる男女の交渉を描いた優れた作品で、高度のものであるが、ここに示された愛情の姿から受ける清潔な感銘は年若い人々の心にも深く訴えるものがあると思われます。内容上、少年には難かしいものですが、あえて青年向として推薦します。

彩色
裸の大将　再映
裸の天才画家といわれる山下清の生活記録「山下清の放浪日記」より映画化で、全体に溢れるユーモアと軽い風刺は健全な娯楽作品として青少年に推薦します。

暖簾　〃
無法松の一生　〃
翼よ！あれがパリの灯だ　〃
非青少年向指定映画
恐喝
ヌードモデル殺人事件